

2026年6月

# グラフで見る和歌山県経済指標

## 和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026年6月30日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現が維持された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に5月の値）に基づき報告する。

### 全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「輸入」「設備投資」「公共投資」「住宅建設」に関する判断がそれぞれ維持された。「個人消費」に関しては、消費者マインドに関する注意書きが外れ、「持ち直しの動きがみられる」に表現変更された。「輸出」に関しては、「このところ持ち直しの動きがみられる」と上方修正された。
- ② 企業活動に関して、「生産」「業況判断」「企業収益」に関する判断がそれぞれ維持された。「倒産件数」に関しては、「おおむね横ばいとなっている」に表現が変更された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関して、「国内企業物価」「消費者物価」に関する判断がそれぞれ維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が高まっている」との表現が維持された。国・地域別では、米国の表現に変更があった。

### 和歌山県の情勢

① 個人消費面では、**百貨店・スーパー販売額（5月）**は、前年同月比0.2%減となり、6か月連続で前年を下回った。業態別では、近鉄百貨店和歌山店の販売額（5月）が前年同月比0.2%減となった。

**新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、5月）**は、前年同月比4.7%増となり、2か月連続で前年を上回った。車種別では、軽乗用車が前年同月比5.5%減、登録車が同12.0%増となっている。3月末に、環境性能割が廃止されたことで、購入時にかかる税負担の一部が軽減された結果、登録台数・販売台数が増加したものと考えられる。

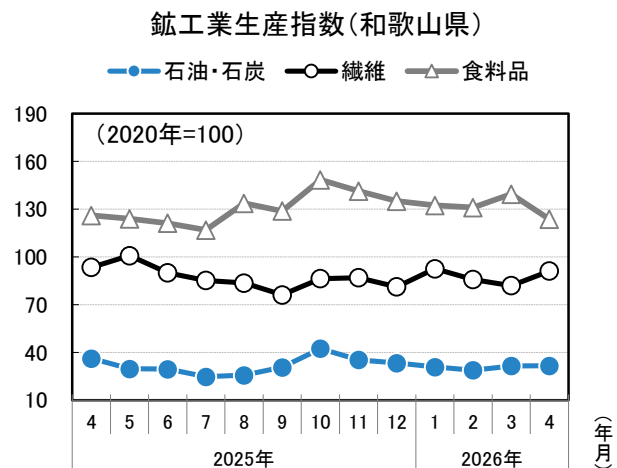
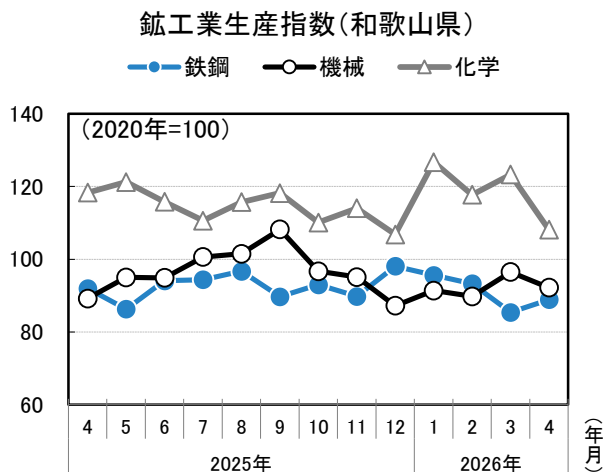
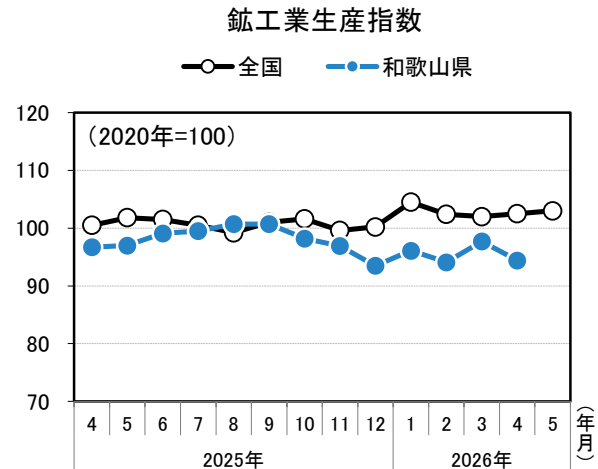
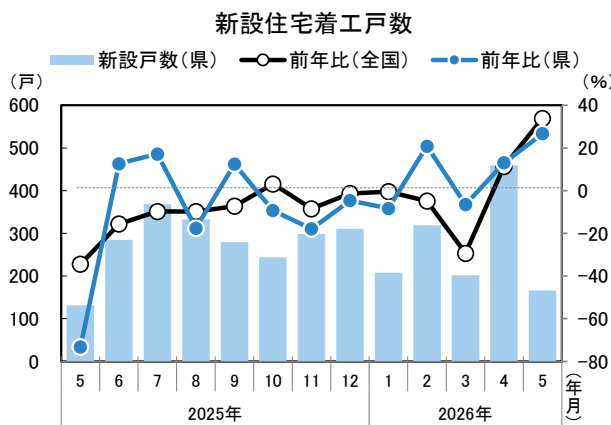
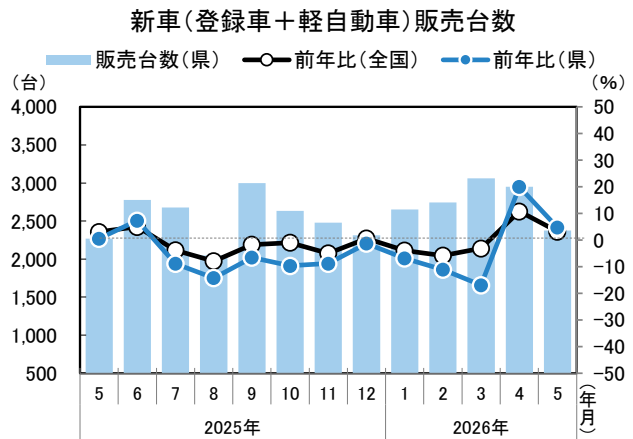
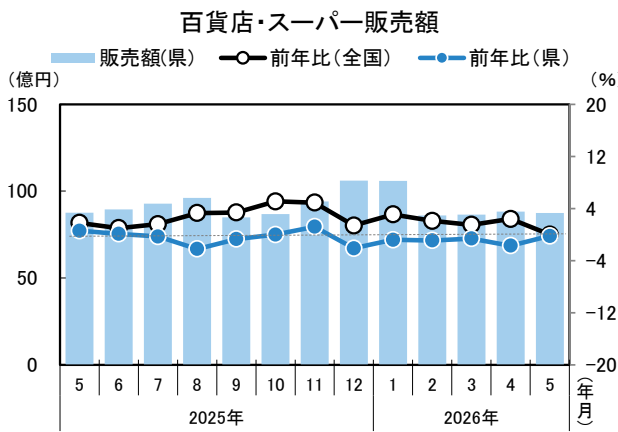
**新設住宅着工戸数（5月）**は、前年同月比26.7%増となり、2か月連続で前年を上回った。住宅種別では、「分譲住宅」が2か月連続で前年を上回り、「持家」も5か月ぶりに前年を上回った。

② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（4月）**は、前月比3.3ポイントの下降となっている。下降は2か月ぶりで、生産指数は一進一退の状況にある。「鉄鋼業」が上昇する一方で、主力業種である「化学工業」、「食料品工業」などで下降した。

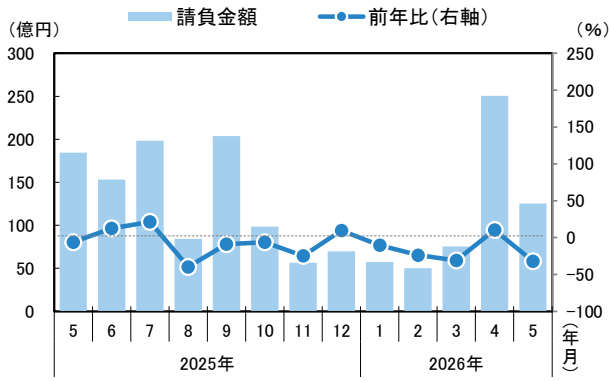
**公共工事請負金額（5月）**は、前年同月比32.0%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。4月～5月の累計請負金額を地域別に見ると、湯浅地区で前年同期比64.1%減、串本地区で同54.3%減、田辺地区で同43.5%減となっている。

帝国データバンクが発表している「**県内 TDB 景気 DI (5月)**」は、前月から0.1ポイント下降し、低水準が続いている（下降は3か月連続）。特に製造業の景気 DI が4か月連続で下降し、直近10年間における最低値となっている。このような状況を受けて、帝国データバンクは「新設住宅着工戸数の低迷が続く、大型の公共工事も乏しく、当面はこの状況が続くと予想される」としている。

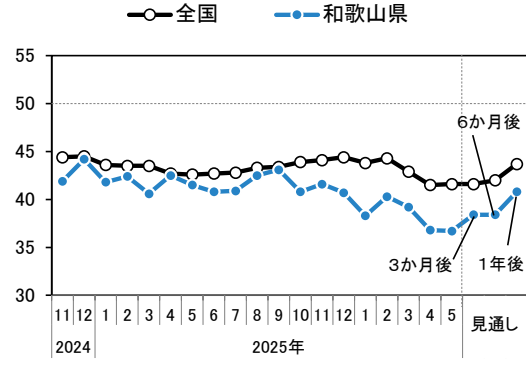
③ **雇用面**については、「**有効求人倍率 (5月)**」は、前月から0.04ポイント下降し、0.96倍となった。1.00倍を下回るのは2021年1月以来、約5年半ぶり。有効求職者数が10か月連続で前年を上回る一方で、有効求人数は12か月連続で前年を下回っている。製造業、卸売業、小売業、宿泊業・飲食サービス業などを中心に新規求人数も減少傾向が続いている。このような状況の要因としては、前年11月に、最低賃金が65円引き上げられ、事業者の人件費負担が増加しており、求人控えが起きている可能性が挙げられる。今後の県内雇用情勢については、これまで以上に注視する必要がある。



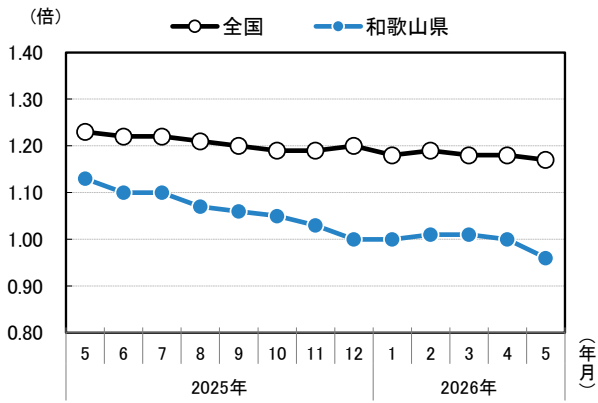
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI (判断の分れ目は50)



有効求人倍率



## (1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	-5.6	-6.6	3,800	-3.3	-4.0
2025年4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9
12月	106.1	1.4	-2.1	2,312	0.6	-1.3	311	-1.3	-4.6
2026年1月	105.8	3.1	-0.8	2,651	-3.9	-6.9	208	-0.4	-8.4
2月	86.0	2.1	-0.9	2,745	-5.8	-11.1	319	-4.9	20.8
3月	86.5	1.5	-0.6	3,062	-3.1	-17.0	202	-29.3	-6.5
4月	88.2	2.4	-1.7	2,949	10.8	20.0	459	11.4	13.1
5月	87.5	0.0	-0.2	2,376	3.2	4.7	166	33.9	26.7

(2026年7月1日に取得可能な資料より作成)

## (2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2020年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.5	100.0	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0	
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	-5.0	
2025年4月	100.5	96.7	92.0	89.2	118.3	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5
5月	101.8	97.0	86.3	95.0	121.2	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5
6月	101.5	99.1	94.1	94.9	115.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8
7月	100.5	99.5	94.4	100.6	110.6	24.7	85.2	116.9	198.3	21.4	40.9
8月	99.2	100.7	96.7	101.5	115.7	25.7	83.6	133.7	84.4	-39.5	42.5
9月	101.0	100.7	89.7	108.2	118.2	30.6	76.1	128.8	203.7	-8.7	43.1
10月	101.6	98.2	93.0	96.7	110.1	42.4	86.4	148.4	98.4	-6.2	40.8
11月	99.6	96.9	89.8	95.1	114.0	35.3	86.9	141.3	56.3	-24.6	41.6
12月	100.2	93.5	98.1	87.2	106.8	33.3	81.2	135.0	69.9	9.6	40.7
2026年1月	104.5	96.1	95.6	91.4	126.7	30.8	92.6	132.3	57.3	-10.3	38.3
2月	102.4	94.1	93.3	89.8	117.7	28.8	85.8	131.0	50.1	-23.8	40.3
3月	102.0	97.7	85.4	96.5	123.3	31.5	82.0	139.4	75.5	-30.9	39.2
4月	102.5	94.4	88.9	92.2	108.1	31.6	91.1	123.6	250.5	10.4	36.8
5月	103.0								125.3	-32.0	36.7

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2026年7月1日に取得可能な資料より作成)

## (3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2025年4月	1.25	1.14	16,327	14,293	15.0	20.2
5月	1.23	1.13	16,324	14,412	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,106	14,589	15.6	19.5
7月	1.22	1.10	16,037	14,572	12.3	19.2
8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.06	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	1.00	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	1.00	15,509	15,557	11.2	13.9
2月	1.19	1.01	15,372	15,215	12.5	20.2
3月	1.18	1.01	15,113	14,968	17.4	28.2
4月	1.18	1.00	14,912	14,871	14.2	23.2
5月	1.17	0.96	14,479	15,154	14.9	22.4

(2026年7月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。